



NPO法人ベジプロジェクトジャパン 認定 ヴィーガン認証マーク

ベジプロジェクトのヴィーガン認証マークを活用し
ヴィーガン・プラントベース市場の開拓をご一緒しませんか。

ベジプロジェクトのヴィーガン認証マーク

- ✓ 国内で最も多く利用されているヴィーガンマーク
- ✓ ヴィーガンの国際サミットから例年招待を受けるベジプロジェクトが認証
- ✓ 「ヴィーガン認定基準を満たした製品であることの審査・認証」の権利として商標を取得済み

認証取得の活用実績

- ✓ 売上増、新規顧客獲得
- ✓ マスメディアへの露出
- ✓ ベジプロジェクト関連の展示会や行事に優先的に参加
- ✓ ベジプロジェクトの媒体で宣伝

身近なスーパーやコンビニなどで
おなじみの食材や飲料、お酒も続々！



冷凍食品やインスタント、
カップ麺、〇〇の素などなど



業務用食品にも

お菓子や
スナックも！



スキンケア商品や
コスメ、日用品にも

認証取得のメリット

- ✓ 分かりやすく訴求力がある ———— 日本で最も使われているヴィーガンマーク！
- ✓ 信頼性がある ———— 基準を満たすことを確認する審査を経て認証を取得
- ✓ シンプル ———— 様々な考え方があるヴィーガンの基準を自社で決定・対応することは大変
- ✓ 不安や心配事の解消 ———— ヴィーガンに関して不明点はベジプロジェクトが対応

導入事業者例(敬称略)

カゴメ、ニッポン、中村屋、亀田製菓、森永乳業、キッコーマン食品、マルコメ、ロート製菓、大塚製菓、吉兆、ロイヤル、マルサンアイ、六甲バター、MDホールディングス、月島食品工業、ミヨシ油脂、風と光、アサヒコ、JR東日本クロスステーション、三井化学ファイン、京都大学生協同組合、東京大学消費生活協同組合、台東区役所食堂、他多数

NPO法人ベジプロジェクトジャパン

2013年に代表が在籍中であった京都大学の食堂へヴィーガンメニューを導入する活動から始まったNPO法人です。現在は、大学だけではなく、企業や飲食店、自治体、国際団体等との協業を通しヴィーガンの選択肢づくりを進めています。ヴィーガン認証マークの他、商品や事業の監修、観光案内所で配布されているベジマップの制作、イベント開催、ウェブメディアの運営等を行っています。



認証取得後の活用事例

展示会

プレミアム・フードショー、健康博覧会、オーガニックライフスタイルEXPOにて、ヴィーガンに特化したベジプロ特設エリアが設置されました。認証を取得されている企業様は、出展割引等の特典を利用し優先的に参加いただきました。



健康博覧会2023では、オーガニック&ナチュラルエキスポエリアでのランドマークとして多くの来場者が押し寄せ注目を集めるグループ出展となりました。出展企業様によるピッチも約300名の聴講の応募があるほど、大盛況でした。

イベント

百貨店のポップアップストアや地域のイベントへの出店



一般消費者へ直接、認証商品をご紹介しました。

マスメディア

ネットメディア、新聞、テレビ等の取材



認証取得商品は、メディアで紹介されることも。

Webメディア・SNS

ヴィーガン情報を発信するWebメディア「VEGETIME」や、フォロワー1万超のSNSにて認証商品をご紹介。

